

立命館大学アート・リサーチセンター  
 文部科学省 共同利用・共同研究拠点「日本文化資源デジタル・アーカイブ研究拠点」  
 2018 年度 共同研究成果報告書〔研究設備・資源活用型〕

2019 年 4 月 10 日 提出

1. 研究課題名	
「20 世紀のテレビ CM データベース」の公開と活用 (英文標記: Research for the publication and utilization of digital database “TVCM of the 20th century”)	
2. 研究代表者	
氏名(ふりがな)	所属機関・職名
高野光平(こうのこうへい)	茨城大学・教授
3. 研究分担者 (合計: 名)	
氏名(ふりがな)	所属機関・職名
赤間亮(あかまりょう)	立命館大学・教授
石田佐恵子(いしたさえこ)	大阪市立大学・教授
小川博司(おがわひろし)	関西大学・教授
竹内幸絵(たけうちゆきえ)	同志社大学・教授
辻大介(つじだいすけ)	大阪大学・准教授
難波功士(なんばこうし)	関西学院大学・教授
山田奨治(やまだしょうじ)	国際日本文化研究センター研究部・教授

4. 研究課題の概要
<p>本研究課題は、立命館大学アート・リサーチセンター内に構築された映像データベース「20 世紀のテレビ CM データベース」を研究者に公開し、幅広く研究活用を支援するものである。本データベースは、株式会社 TCJ と日本アド・コンテンツ制作協会から貸与を受け、ハイスピリット株式会社とさがスタジオ(いずれも解散)から寄贈を受けた、1950～1990 年代制作の日本のテレビ CM 約 18,000 本から成る。研究代表者および研究分担者は、本データベースの運営管理、閲覧希望者の審査、閲覧者へのアドバイスなどを行う一方で、社会学、メディア史、戦後日本文化史等の観点から自らも本データベースを研究に活用する。</p>
5. 研究成果の概要
<p>2018 年 10 月よりデータベース公開を開始し、閲覧希望を募ったところ、1 名の閲覧希望者があり許可した。また、研究分担者 1 名がデータベースを活用してシンポジウム発表をおこなった。詳しくは 7「研究業績」(3)を参照。</p>